

令和6年1月 実施

回答数:23件中22件

事業所名:キッズゆにつく学園

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	77%	23%		<ul style="list-style-type: none"> ・集団用の部屋や個別用の部屋などいくつかあり、用途に合わせて活動できるのでよい。 ・土曜日など人数が多い時の「動」の活動は、ぶつからないよう怪我のないよう動きや内容を検討している。 ・1部屋のスペースはあるが、静的活動/動的活動が分けられていない。 ・いくつかある部屋を有効活用できるように調整しています。
	② 職員の配置数は適切であるか	95%	5%		<ul style="list-style-type: none"> ・手厚い療育ができていると思う。 ・1対1又は少人数で落ち着いて活動に参加。可能な児童は3対1などで職員配置をしている。 ・低年齢児のクラスには、さらに職員数を多く配置し活動や食事等に配慮している。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がい者の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	27%	36%	36%	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー化はされていないが、子供達が1人で行けないように柵をして部屋を仕切れている。カラーBOXなどを使って玩具を取りやすい所に置いて使いやすくなっている。 ・バリアフリー化等の準備なし。空間的にはわかりやすい構造になっていると思う。 ・今現在利用中のお子さんで配慮が必要な場合は一人ずつ介助をつけるなどして危険のないよう配慮あり。手すりの位置などは3月中旬に修繕予定。廊下や窓などにはチャイルドガードがあり安全のための工夫あり。 ・階段の昇り降りなどは運動面の発達に必要な下半身の上下運動に適していることもあり、支援の一つとして職員がしっかりサポートしながら一人ずつゆくり昇り降りしている。2人体制で介助するなど工夫が必要な場合があります。 ・建物内外は肢体や視覚、聴覚に課題がある児童には適しておらず、利用にはいたっていない。 ・設備、物の場所や部屋の位置などはわかりやすく、写真や名前などがついていて、子どもにとって混乱することは少ない。一日の流れなどもホワイトボードに写真つきで記されていて今日は何をするのかがすぐに分かるようになっていて安心できると思う。 ・各教室は安全に配慮された空間になっているが、外への階段が急など、一部配慮が難しいと感じる場所がある。 ・小児用の手すりや手洗い場、トイレではない。障害特性上、注意、衝動性に対応している空間ではない。 ・今後の必要性に応じて検討したい。 ・階段が多い。 ・2くみ階段が困難。
	④ 生活空間は、清潔に整理されるなど、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	86%	14%		<ul style="list-style-type: none"> ・建物は古いですが、トイレ、手洗い場など毎日清掃し清潔にしている。 ・自由遊びの玩具により、1つ1つの遊び場を離して、児童の様子を見やすく環境を整えている。 ・心地よく過ごせるように話し合いながら整える努力はしている。 ・子ども達を第一に考え改善に努めている。 ・異食の行動をとる小児がいるため、ストーブ裏や玄関の清掃をより丁寧に行う必要有り。 ・台所があるため、環境的には不十分だと思う。 ・1くみは生活空間に台所も併設されていますが、カーテンで仕切るなど工夫をしています。

業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	91%	9%		<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の全体ミーティングの他に各クラス必要に応じてショートミーティングを行い、評価、反省に繋げている。 ・ミーティングに参加していないスタッフへの周知が遅れている。 ・参加できない職員にも対応できるよう、回覧等で周知するように努めている。 ・月1回のミーティングに加えて日々職員と連携を取り改善に努めている。 ・クラス内でのミーティングや、他クラスとの情報も伝わっている点は良い。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	95%	5%		<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティング等で内容共有の上、改善に努めている。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	95%		5%	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	9%	27%	64%	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	91%	9%		<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修の案内なども周知を広くして機会を設けられるとよいと思う。 ・学ばせて頂く機会があるのは発達に合わせた個々の対応が出来るので良い。 ・研修を行った際、必ず職員同士の話し合いを設け、児童に対する今後の支援の仕方も考えている。 ・応急手当講習を受けさせていただきました。
適切な支援の提供	⑩	担当職員により、アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	95%	5%		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、各クラス内でのアセスメントツールを使用しているか	77%	14%	9%	<ul style="list-style-type: none"> ・全体ミーティング等で話し合いが行われたり、その内容を共有出来る様回覧を行っている。 ・病院受診されている児童には結果の提出を求めている。事業所独自のものは無い。 ・個々に合わせた対応を行っている。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているかなど、利用児童の個人ファイルに管理し、支援計画の内容を確認しているか	95%	5%		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	95%	5%		<ul style="list-style-type: none"> ・全スタッフが支援計画をチェックできているか。 ・計画を職員全員で共有。 ・1人1人の児童に沿った支援を行っている。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	95%	5%		<ul style="list-style-type: none"> ・チームで立案し共有している。 ・保育士、児童指導員、機能訓練士など様々な職員の意見を取り入れ立案している。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	95%	5%		<ul style="list-style-type: none"> ・季節の行事などを取り入れたり、同じ活動でも個々の児童の能力に応じて設定している。

適切な支援の提供	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、実施しているか	95%	5%		・季節の行事などを取り入れたり、同じ活動でも個々の児童の能力に応じて設定している。 ・児童に合わせたその日の活動を個別にするなど工夫されていると思います。
	⑰	支援を行う時までに職員間で打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	95%	5%		・その日のリーダー、職員間で決め療育を行っている。 ・当日通所する児童を把握し、活動の内容を確認し役割分担を行っている。
	⑱	支援終了後には、職員間で打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	73%	23%	5%	・出来る限り行っているが、午後の振り返りは難しいことも多い。 ・常勤スタッフ間では比較的共有できている。 ・冬期間は送迎にも時間がかかり、その日気づいた点等のうち伝えられなかった点はLINEを使用している。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	91%	9%		・日々の記録はできるだけ子どもの課題、特に支援計画にある目標【例：言葉の発達がマイペースなお子さんの場合(動物の鳴き声をよく真似する。象の絵を見て「パオーン」といいながら腕で象の鼻を真似して笑顔を見せた等)】について記すことと、その日の様子を書くように心がけている。 ・毎日記録を残し、休日だった日はその日の記録を見るように心がけている。 ・記録の取り方に関して、言葉について及び食事や排泄などADLについての内容が少ない。活動内容は書いているが支援計画に沿うものかは分からない。
	⑳	定期的にモニタリング(児童の様子を観察)を行い、児童発達支援計画の見直しの必要性があるかどうかなどを相談しているか	91%	9%		・来所頻度について、話し合いの場があっても良いと感じる。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	77%	23%		・園としての係わり(各機関への)がまだわからず勉強不足です。
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	73%	23%	5%	・出来ている園と出来ていない園があるように思う。 ・もう少し情報共有できたら良いと思う児童がいる。 ・どのような連携をとられているのか確認不足です。
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	59%	27%	14%	・どのような連携をとられているのか確認不足です。
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	91%	9%		・どのような連携をとられているのか確認不足です。
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	9%	14%	77%	
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、面談時などに保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	77%	18%	5%	・褒める事、子どもの主体性を大切にしている。スモールステップで実践している。 ・お子さんの素晴らしいところを再確認していただくことをはじめ、家族支援プログラムは多岐にわたります。少しでも子育ての手助けになるような工夫を共有できるようにしています。

保護者への説明責任等	⑳	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			
	㉑	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%			
	㉒	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	91%	9%		・入職してから日が浅く、保護者の方3名の方とお話(お子様の様子)をさせていただいた。 ・送迎時の少しの時間でしかお話しする機会がないのでその時にお話しすることもあります。
	㉓	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	14%	18%	68%	・2024年度開催の予定となっているので支援していきたい。
	㉔	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			・相談や申し入れがあった際には、職員で話し合いをし、周知している。体制の整備も行われている。
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			・会報=ゆにつく通信とみなして。 ・月1回、通信を提供できている。
	㉖	個人情報の取扱いに十分注意しているか	86%	9%	5%	・職員間でのやりとりの中では児童名を伏せるなどの工夫はあります。活動中の様子などをLINEでお知らせしたり、様々な相談を受けたりしますので事業所内のWiFiにウイルスが入り込まないようにファイアウォール(ウイルス対策ソフト)を設置し個人情報の取り扱いには最善の注意を払っています。 ・LINEでのやりとりの安全性。
	㉗	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	91%	9%		
非常時等の対応	㉘	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	68%	32%		・1月の予定に避難訓練(地震)がある。 ・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル、運営規定、重要事項説明書、職員名簿(組織図)、協力医療機関については玄関に置いていて、どなたでもみていただけるようになっています。 ・避難場所は保護者に周知できている。他マニュアルは周知できていない。 ・保護者への周知がなされているか確認しておらず不明です。 ・まだ不完全だと思う。
	㉙	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	95%	5%		
	㉚	事前に、服薬等のこどもの状況を確認しているか	100%			
	㉛	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	95%		5%	・児童はいない。
	㉜	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%			・少しでも危険と思われることがあれば、ヒヤリハットを作成している。

非常時等の対応	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	91%	9%		<ul style="list-style-type: none"> ・新しい職員が増えてから、研修を実施していない。 ・令和6年4月に新入職員5人が予定されています。その時にも実施します。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	100%			

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」又は「いいえ」のいずれかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。